

# 花火720発を打ち上げ地域に貢献

鹿沼72カントリークラブ（栃木県・45日）は9月26日にチャリテイ花火大会を開催。協賛金の一部を鹿沼市の「新型コロナウイルス対策基金」に寄付した。

「コロナ禍において医療の最前線で頑張っている医療従事者の皆さんに、感謝の想いを届けるために。また、今年は感染防止のために夏祭りなど各種イベントが中止となったので、地域の皆さんに元気になってもらいたくて、チャリテイ花火大会を企画しました」と話すのは、鹿沼グループマーケティングセールス本部の荒川磨理氏。ゴルフ場のフェアウェイから花火を打ち上げるのは、今年、栃木県では初めてだという。

「大勢の人が集まり密になってはいけないので、本企画については告知をせず、クラブの理事やメンバー様にご協力いただき、企業から協賛を募りました。そして、当日は協賛いただいた理事、メンバーと企業の方のみご来場いただき、今年新設したレストランテラス席から花火をご観覧いただくことにしました。花火なら、来場しなくても、地域の皆さんに楽しんでもらえます。協賛いただいた皆様には快く賛同していただきました」（荒川氏）

観覧できる人数を設定し、2万円、3万円、5万円、10万円のコースで協賛を募った。結果、県内の企業32社が協賛し、当日は85名が参加した。19時からレストランでドリンクとオードブルを提供して歓談してもらった。また、寄付金の贈呈式を行った。協賛金の一部の20万円と、鹿沼72

CC理事一同からの20万円が、同クラブの理事長の中西崇介氏から鹿沼市長の佐藤信氏に手渡された。40万円は、市の「新型コロナウイルス対策基金」に寄付されるという。

20時から花火の打ち上げが始まり、参加者はテラス席に移動して観覧。医療従事者に感謝の想いを届けるための青い花火を含む、720発の花火が夜空を彩った。



花火打ち上げ前に、中西理事長から佐藤鹿沼市長に寄付金が手渡された

民には周知しなかったが「突然、花火が上がってびっくりしたけど、きれいだった」といったコメントがSNSに投稿されたり、多くの人が車を止めて花火を見たり、話題になったという。同社の狙いどおり、地域の人々にも喜ばれ、元気を届けることもできたようだ。

鹿沼グループでは、6月にも従業員がデザインしたオリジナルのチャリテイポロシャツと、チャリテイメニューをグループ3ゴルフ場（鹿沼CC、鹿沼72CC、栃木ヶ丘GC）で販売。その売上の一部118万6900円を医療従事者応援寄付金として、9月24日に栃木県に寄付した。

## 秋のおすすめ品!

FW用着色剤

カラー  
メイト **F-20**

芝生用着色剤

**オーダーグリーン**

酵素パワー!

**サッチ  
クリーナー**

新発売!

有用菌でサッチを分解

**サッチ・マネージャー**

**サッチ・マネージャー Winter**



株式会社 **トモグリーンケミカル**

〒420-0816 静岡県葵区沓谷 5-9-12  
TEL 054-264-2151 FAX 054-264-2153

HPをご覧ください  
<http://www.tomo-green.com>